

## 施策案に対する意見等の概要と意見等に対する市の考え方

番号	意見等の概要	意見等に対する市の考え方
1	<p>太田市公共施設等総合管理計画を策定し、施設の統合や廃止を進め市有施設の総量を市の人口減少に合わせ令和22年度までに10%縮減するという目標を掲げているようだが、まず、新田図書館の建て替えを検討するに当たり他の既存施設も含め複合化による総量縮減を目指し検討を進めること自体に無理があると思われる。複合化する既存施設は、新田図書館と新田保健センターが主で新たに加わる機能があるとありますが、尾島・藪塚の図書館・保健センターはそのまま残すと考えてよろしいでしょうか。まして行政センター機能もとり便利だと思いますが、尾島・藪塚の行政センターはそのままと考えるとよろしいでしょうか。もし人口減少とコロナ禍で必要な行政改革と考えているなら間違っていると思います。まして藪塚は人口が増えている地域であり、西複合拠点公共施設に含まれるとしたら心外です。合併も対等合併であり、旧新田地域を西の新田地域にまとめようとするのは一体感の醸成の趣旨から言ってもおかしいです。</p> <p>コンパクトシティそのものも国からの指示かもしれませんが、太田は郊外をより利活用すべきです。図書館・保健センター・行政センターは近くにあった方が良いのは誰でも考えています。要はどう利用者を増やし活用するかを真剣に考える問題ではないでしょうか。コロナもいずれ収まるだろうし、人口も太田市は増える要素がいっぱいあります。</p>	<p>人口減少社会を見据え、持続可能な太田市を将来世代へ繋げていくため、公共施設を多く抱える本市では、公共施設の縮減は避けて通れません。従来は、目的ごとや地域ごとに建物を建てているケースがほとんどでしたが、これからはより広域的な視点で同じ機能を持つ施設を集約化していくことや、建物に様々な用途の施設を同居させ複合化していくことが必要となります。施設の集約化・複合化を進めることにより限られた財源を集中的に投資しハード・ソフトの両面の充実を図るなど、建築物は減るもののサービスや機能の維持・向上を図るという視点に基づき、公共施設の在り方を見直していく必要があります。当該施設においても、その視点により、できるだけ利便性を損なうことにならないよう、各施設の持つサービス機能を維持し、その時代が求める性能と適正規模の確保に努めます。</p> <p>コンパクトシティについては、本市が目指す多極ネットワーク型コンパクトシティは、中心拠点への一極集中を目指すものではなく、市内各地の拠点をそれぞれコンパクトにし、公共交通網によりネットワーク化することを目的としており、各地域の個性を活かすとともに、ネットワーク化により市内の一体感も維持されると考えます。</p>
2	<p>私の住まいは藪塚地域ですので新田エリア構想には関連が薄いと思いますが、人口減少率も少ない(藪塚エリア)住宅地域エリアもあることから、高齢者等弱者に対する配慮について将来的に検討をお願いしたいと思います。太田市のコンパクトシティ構想の重要性は感じますが、高齢者等が社会・地域に繋がっていくための交通手段や通信手段(機器以外の操作等のマンパワーなど)やゴミ回収など弱者優先の自宅回収なども重要になると考えます。</p> <p>私達も努力を重ね、行政との対話や情報共有にて魅力ある太田市を目指していきたいと思っております。よろしく申し上げます。</p>	<p>太田市の人口はこれまで微増を続けていましたが、今後は減少局面に転じ、人口減少が本格化するものと見込まれています。また、人口減少と並行し、高齢者人口の割合が急速に増加することも見込まれています。このような中でも将来にわたり、高齢者を含むすべての市民が生活に不自由さを感じることなく、社会の中での役割を果たしつつ、生き生きと活動することができる太田市であり続けられるよう、引き続き市民協働のまちづくりに取り組んでまいります。</p>